



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年 8月27日発表
担当課:学校教育課

事業の名称等

ラグビーワールドカップ2019™日本大会応援事業

1. 日時 令和元年9月24日、9月29日、10月9日及びその準備期間

2. 場所 熊谷ラグビー場及び市内小中学校

3. 事業概要

(目的)

ラグビーワールドカップ2019™埼玉・熊谷開催日である9月24日、9月29日、10月9日に、市内全小中学生(約14,000人)が試合を観戦する。各学校では、「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」の取組として、出場国について学んだり、オリジナルの応援グッズを作成したりし、彩りが豊かな心のこもった応援により会場を盛り上げる。また、国歌斉唱や応援を通じ、選手と共に試合の臨場感を味わい、熊谷の子供たちに一生心に残る無形のレガシーを構築することを目的とする。

(内容)

- ・事前学習によって出場国の歴史や文化・ラグビーについて学びます。
- ・出場国をイメージした子どもたちオリジナルの応援グッズを作り、当日は両国を応援し、会場を盛り上げます。
- ・各学校で出場国(両国)の国歌を学習(練習)し、大会時の国歌斉唱では、選手や外国からのお客さんを国歌でおもてなしします。

(観戦計画)

9月24日(火)19:15～ ロシアVサモア
中学生【1年～3年】16校(生徒+職員等 計4,290人)
9月29日(日)14:15～ ジョージアVウルグアイ
小学生【1年～6年】14校(児童+職員等 計4,935人)
10月9日(水)13:45～ アルゼンチンVアメリカ
小学生【1年～6年】15校(児童+職員等 計4,978人)

児童・生徒の参加率は、93.9%

原則として小中学生ともに貸し切りバスにて輸送する。(会場周辺の学校は、徒歩)

4. 特徴やPRポイント

- ・オリジナルの応援グッズを使用した彩りが豊かな見栄えのある応援や、児童生徒・教職員約5,000人と市民が一体となった国歌の斉唱が実現し、ワールドカップそのものを盛り上げる効果が期待できます。
- ・対戦国についての事前学習や応援準備を通じ、選手と一体となり歴史的大会を味わうことにより、熊谷の子供たちに一生心に残る無形のレガシーを構築することができます。

5. その他

本市は、「ラグビータウン熊谷」として、子どもたちの心身の健全な育成に向けて、ラグビー(タグラグビー)の普及・発展を図っている。そのため、昨年11月3日には、市内全小中学生を「ラグビータウン熊谷」のジュニアサポーターに任命した。

資料の有無(☒ 有 ・ ☐ 無)

担当者 学校教育課 新井

連絡先 内線386

ラグビーワールドカップ2019観戦日一覧

小学校

	学校名	観戦日	
		9月29日 (日)	10月9日 (水)
1	熊谷東小学校		○
2	熊谷西小学校		○
3	石原小学校	○	
4	成田小学校		○
5	大幡小学校	○	
6	佐谷田小学校	○	
7	大麻生小学校	○	
8	玉井小学校		○
9	久下小学校		○
10	熊谷南小学校	○	
11	中条小学校		○
12	吉岡小学校		○
13	別府小学校	○	
14	三尻小学校	○	
15	奈良小学校		○
16	星宮小学校		○
17	桜木小学校		○
18	籠原小学校		○
19	新堀小学校		○
20	吉見小学校	○	
21	市田小学校	○	
22	長井小学校	○	
23	秦小学校		○
24	妻沼小学校	○	
25	男沼小学校	○	
26	太田小学校	○	
27	妻沼南小学校		○
28	江南南小学校	○	
29	江南北小学校		○

中学校

	学校名	観戦日 9月24日 (火)
30	荒川中学校	○
31	富士見中学校	○
32	大原中学校	○
33	熊谷東中学校	○
34	玉井中学校	○
35	大麻生中学校	○
36	中条中学校	○
37	吉岡中学校	○
38	別府中学校	○
39	三尻中学校	○
40	奈良中学校	○
41	大幡中学校	○
42	大里中学校	○
43	妻沼東中学校	○
44	妻沼西中学校	○
45	江南中学校	○